

越谷市環境管理計画中間見直し(素案)に対するパブリックコメントの概要

意見募集期間	令和7年(2025年)11月17日(月)～令和7年(2025年)12月16日(火)
周知方法	<ul style="list-style-type: none">・広報こしがやお知らせ版11月号への記事掲載・市ホームページへの情報掲載・越谷cityメールでの意見募集案件の周知・情報公開センターでの意見募集案件の周知
意見提出方法	<ul style="list-style-type: none">・各施設に設置した意見箱への投函・郵送・FAX・電子メール・電子申請
計画(素案)・意見箱設置場所	全15か所 <ul style="list-style-type: none">・市役所環境政策課窓口・情報公開センター・各地区センター(13か所)
意見数	<ul style="list-style-type: none">・意見提出者:3人(内訳:投函0人、意見箱0人、電子メール0人、電子申請3人)・意見数:5件

<市の考え方の区分>
 A:計画(素案)に反映します
 B:計画(素案)に反映しません
 C:今後の取り組みの参考とします
 D:その他

No.	該当箇所	意見要旨	意見に対する市の考え方	区分
1	p.6	SDGSの普及・促進で、「越谷市のSDGS達成状況」2018(全国調査)2019(越谷市)の図を2025年のものに修正してください。	越谷市のデータについては、本計画策定時の2019年に行った市民アンケート調査の結果を掲載しております。 また、同時期の全国調査と比較するために、同データについては2018年の結果を掲載しております。	B
2	p.7、p.8	気候変動への適応、地球温暖化対策は、世界共通の長期目標として平均気温の上昇を2℃未満に保つこと、1.5℃に抑える努力を示されているので、夏の越谷市35℃以上の日数が減ると良いと思います。	いただいたご意見を踏まえ、施策の推進に努めてまいります。	C
3	p.13	市内の太陽光発電設備の設置状況の件数を増やしてほしいです。 また、市内の電力需要量について、2016年度19%程度と記載がありますが、2026年の数字に修正してください。	太陽光発電設備の設置件数の増加については、補助金を交付するなど、市民・事業者の行動変容を促す取組を推進してまいります。 また、市内の電力需要に係る記述については、環境省が公開している「自治体排出量カーラン」の2023年度の数字に修正いたします。	A

No.	該当箇所	意見要旨	意見に対する市の考え方	区分
4	3章 具体的目標と環境施策	<p>久伊豆神社を中心とした歴史的自然環境に対する、異常気象下での積極的かつ計画的な環境保全施策の明確化について</p> <p>越谷市環境管理計画(中間見直し案)を拝見しました。</p> <p>本計画では久伊豆神社が複数回取り上げられ、88ページには歴史的景観の例として写真も掲載されており、同神社および越ヶ谷宿周辺が市にとって重要な環境資産であることが明確に示されています。</p> <p>しかしながら、当該区域の保全に関する具体的な施策や目標の解像度が、他の施策分野と比較して相対的に低く、計画としての実効性に課題が残るよう感じました。</p> <p>さらに近年、異常気象が常態化している現状を踏まえると、「従来の自然環境維持」ではなく、「気候危機下での積極的な環境保全」が必要な段階に入っていると考えます。</p> <p>特に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の連続した夏季猛暑 ・ゲリラ豪雨と極端な乾燥の繰り返し ・令和7年夏の記録的な高温・降雨不足 <p>により、久伊豆神社の社叢(樹林地)が大きなストレスを受けていると、多くの市民や関係者から指摘されています。</p> <p>専門家(樹木医)によれば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木の急激な樹勢低下 ・乾燥による根系ダメージ ・高温に伴う蒸散量増大 ・表土硬化による水分浸透の悪化 <p>などが明らかに進行しており、自然回復能力だけでは対処しきれない状況とのことです。</p> <p>久伊豆神社の社は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●都市のヒートアイランド緩和 ●生態系保全 ●歴史的景観保護 ●地域文化の基盤 <p>を同時に担う、越谷市民にとって極めて大切な環境資源です。</p> <p>この社叢が失われれば、環境面にも文化面にも不可逆的な損失が生じます。</p> <p>要望(行政に望むこと)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 久伊豆神社および周辺樹林地を、異常気象リスクも踏まえた「重点的環境保全区域」として明確に位置づけてください。 2. 樹木の樹勢診断・土壤診断を、行政主導で定期的(例:年1回)に実施する仕組みを計画に明記してほしいです。 3. 猛暑・乾燥対策として、保水性向上のための表土改善・根域保全など、短期的な緊急対策も含めた工程を示してほしいです。 4. 参道・境内周辺の過度な地表硬化が根系に与える影響を考慮し、対策方針(透水性舗装の導入検討など)を計画の中に位置づけてください。 5. 久伊豆神社を含めた地域が環境保全区域である以上、将来像と評価指標(樹木健全度、樹林面積、土壤健全度など)の設定を明確にしてほしいです。 <p>まとめ</p> <p>環境管理計画において久伊豆神社が重要地域として扱われていることは大変心強く感じます。</p> <p>一方で、写真掲載や言及があるにもかかわらず、施策水準が曖昧なままで、実効性に乏しくなる懸念があります。</p> <p>越谷の象徴的な自然・文化環境を次世代につなぐため、行政主導での積極的な環境保全と、具体的な行動目標の明確化をぜひお願いしたいと考えます。</p>	<p>地球温暖化との関連が指摘されている気候変動により、地域の自然環境や市民生活等への影響が懸念され、そのリスクや影響を回避・軽減するための対策が必要であると認識しております。</p> <p>本計画において、久伊豆神社周辺等の環境保全区域に関する取組につきましては、「都市緑化の推進」や「生きものの減少防止」の中に当該区域の周知・啓発活動を位置付けるほか、樹林地・樹木の保全や適切な管理の推進に包含して内容を整理しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	C

No.	該当箇所	意見要旨	意見に対する市の考え方	区分
5	3章 具体的目標と環境施策	<p>越谷でさまざまな地域活動に関わる中で、久伊豆神社の社叢(森)が多くの人にとって「心のよりどころ」になっている場面を何度も見てきました。越ヶ谷宿の歴史、地域の文化行事、子どもたちの学びの機会——これらすべての土台に、この社叢の存在があると実感しています。</p> <p>しかし、近年の猛暑や乾燥の影響で、木々が明らかにストレスを受けている様子が見られます。長年地域に関わってきた立場として、このまでは次の世代にきちんと引き継げないのではないかと強く危機感を持っています。</p> <p>計画案では久伊豆神社周辺が「越谷の大切な自然・歴史的環境」として位置づけられている一方、その保全方法が十分に書き込まれていません。せっかく重要な場所として明記しているのであれば、定期的な樹木の健康診断、乾燥対策、保全の優先順位づけなど、具体的な方針や目標を計画に盛り込んでいただきたいです。</p> <p>久伊豆神社の社叢は、地域の文化と自然を未来へつなぐ“越谷の根っこ”のような場所です。次の世代にも誇れる景観として残せるよう、行政として力強い保全策を打ち出していただけることを望みます。</p>	<p>地球温暖化との関連が指摘されている気候変動により、地域の自然環境や市民生活等への影響が懸念され、そのリスクや影響を回避・軽減するための対策が必要であると認識しております。</p> <p>本計画において、久伊豆神社周辺等の環境保全区域に関する取組につきましては、「都市緑化の推進」や「生きものの減少防止」の中に当該区域の周知・啓発活動を位置付けるほか、樹林地・樹木の保全や適切な管理の推進に包含して内容を整理しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	C